


しまねの土地改良だより

平成 25 年 1 月 1 日発行

 水と土のネットワーク島根

■ 地すべり防止施設点検（農村災害ボランティア活動）

12月3日は大田市朝山町朝倉地内の朝倉本谷地区、12月18日は松江市八雲町平原地内平原奥部地区において、農村災害ボランティア活動として地すべり防止施設点検を実施しました。

県内には、農村振興局所管の地すべり防止指定区域が、294カ所、14,109haからあり、集水井、水路、水抜ボーリング等々数多くの地すべり防止施設があります。

これらの施設は既に耐用年数が経過して老朽化した施設も増え、今後ますます定期点検や長寿命化対策が必要となってきた中で、施設の管理状況を把握し、今後の適切な維持管理について検討することを目的に行いました。

両日とも、地元管理者立ち会いにより、農地・農業用施設等の災害復旧に関し、知識と経験を有する国、県OBが中心のボランティア技術者（農村災害復旧専門技術者として認定されている）の方々、県職員、事務局（県土連）が参加し実施しました。

朝倉本谷地区地すべり防止施設の点検は、総数10名により、集水井及びこの集水井の排水ボーリングを主に点検を行いました。集水井内は、水の貯留は見られなかったものの、土砂の堆積がみられ、また、排水ボーリングの排水口からは若干の排水が確認できました。ワイヤー式洗浄用具により排水口の洗浄を試みましたが、閉塞を完全に解消することはできませんでした。また、もう1カ所の集水井についても、同様に閉塞がみられ、また排水ボーリングからの漏水の可能性も指摘されました。今後、高圧洗浄機等での洗浄及び漏水調査等の必要との助言がありました。

平原奥部地区地すべり防止施設の点検は、総数15名により、集水井、排水ボーリング及び排水路の点検を行いました。この結果、排水ボーリングの排水出口が確認できなかった箇所や、路面に亀裂が入るなど地すべりの兆候が見られる箇所、また集水井の廻りに草木が繁茂しており、周辺の維持（草刈等）が必要などの助言がありました。

次年度以降も引き続き、ため池の保全活動及び地すべり施設点検活動を積極的に行い、農地・農業用施設等の防災・減災に向けた啓発・広報活動を積極的に行っていきたいと思っております。



・地すべり防止施設点検（農村災害ボランティア活動）	1
・平成24年度 第2回監事会及び定期監査	2
・県土連親交会（OB会）開催	2
・平成24年度 中国四国土地改良事業団体連合会 技術部会 開催	3
・「持続可能な水・土・里シンポジウム in 浜田」を開催します	3
・「しまねの農村景観フォトコンテスト」応募締め切り迫る	4
・今後の予定	4

■ 平成24年度 第2回監事会及び定期監査

平成24年度の第2回監事会と上半期（4/1～9/30）の定期監査が、12月17日、石倉代表監事（松江市八雲町土地改良区理事長）、勝部監事（出雲市斐川土地改良区理事長）及び松本監事（邑智郡石見土地改良区理事長）の出席により、本会役員室において開催されました。

監事会では、石倉代表監事の挨拶に続き、田中専務理事から上半期の業務執行状況が、また、事務局から会議、諸行事等の会務報告及び平成24年8月21日開催の本会理事会で議決された平成24年度一般会計収入支出補正予算案について説明・報告が行われるとともに、次回の監事会及び定期監査を、平成24年度決算関係一式が整理出来る平成25年5月に開催することが了承されました。

引き続き、定期監査が行われ、事務局から本年度の上半期の予算施行状況についての報告後、監事により収支予算執行状況調書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び会計執行分全ての諸帳簿、証拠書類等を監査していただき、いずれも適正に処理されていることが確認されました。

今年度も残り数ヶ月となりましたが、これからも職員一致協力して健全な運営に努めていく所存です。



■ 県土連親交会（OB会）開催

本会の職員OBで組織する"県土連親交会"の第22回総会が、12月4日、松江市殿町「サンラポーむらくも」において、会員12名及び本会職員12名が出席し開催されました。

総会は、佐々木正次会長の挨拶の後、議事に移り、事務局から平成23年度収支決算及び平成24年度収支予算案が報告され、原案どおり満場一致で了承されました。

引き続き行われた研修会では、本会の田中専務理事から、本会の運営状況や土地改良区合併状況、農業農村整備事業予算の動向等とともに、本会が開発したしまね水土里情報システムの概要及び同システムを利用した「ため池ハザードマップ」がNHKで放映されたことなどの近況報告がありました。

また、総会終了後には懇親会が開催され、終始昔話に花が咲き、盛会裏に終えることができました。



■ 平成24年度 中国四国土地改良事業団体連合会 技術部会 開催

12月6日（木）～7日（金）、水土里ネット広島 土地改良会館（広島市内）にて、「平成24年度中国四国土地改良事業団体連合会 技術部会」が9県から総勢17人が出席し開催されました。

この部会は、事前に各県土連より質疑事項を提出し、テーマ毎に議論・協議する形式をとっており、今年の検討テーマは、換地、経済効果、国土調査、再生エネルギー、集落排水、ストマネ、ため池、適正化、農地・水、農道、水土里情報等と多岐にわたっていました。

協議の中で、土連を取り巻く環境は年々厳しくなっており、かつ、求められる技術レベルも年々高くなってきている一方、9県各土連とも大変厳しい経営状況と併せ職員数は減少傾向にあるので、土連間での技術連携や、工種ごとに作業分担しての技術開発などに早急に取り組んではどうか、技術力向上・PRのためにも専門資格取得支援を実施してはどうかなど、将来を見据えた検討課題も提案されました。

今後とも、中四国9県土連による技術部会を継続開催し、会員への技術的支援力の向上に繋げていきたいと考えております。

■ 「持続可能な水・土・里シンポジウム in 浜田」を開催します

平成25年2月12日（火）午後1時から浜田市野原町「浜田市総合福祉センター2階会議室」において、「持続可能な水・土・里シンポジウム in 浜田」～水を育む里地・里山の健全な管理に向けて～を開催します。

【プログラム】

- | | |
|-------|---|
| 12:30 | 受付・ビデオ放映「水をはぐくむ里地・里山」 |
| 13:00 | 開会挨拶（主催者 宇津会長） |
| 13:10 | 研究発表
「健全な水源林の管理について」－島根県内の森林調査から－
島根大学生物資源科学部 准教授 宗村 広昭 |
| 13:40 | 浜田地域における循環型林業の取組みについて
石央森林組合参事 栗栖 利寿 |
| 14:20 | 話題提供（各20分）
・「浜田市における農林業振興策について」（仮題）
浜田市経済政策統括監 富田 晋司
・「日本の棚田百選室谷地区について」
浜田市世界こども美術館 学芸課長 神 英雄
・「日本の棚田百選大井谷地区について」
吉賀町産業課 大杉亜沙美
・「島根県の農業農村整備事業の動向について」（仮題）
島根県農地整備課課長 石原一志 |
| 15:40 | 質疑応答 |
| 16:00 | 閉会 |

■ 「しまねの農村景観フォトコンテスト」応募締め切り迫る

「農山村からのメッセージ」をテーマに、平成9年度から実施し今年度で16回目となる「しまねの農村景観フォトコンテスト」の応募締め切りは、平成25年1月31日（木）となっております。

農山村の四季の移り変わり、働く喜び、生活の様子、地域農林業のありさまなど、幅広く農山村の風景をとらえた写真や、農業、林業、農山村が地域の生活や県土の保全などに果たしている役割をとらえた写真など、それぞれの場で撮られた写真がありましたら、是非ご応募下さい。

風景部門、人物部門、施設部門、イベント部門の4部門を設けております。特に、棚田、水路、ため池、堰、農道、林道、森林公園等を対象とした施設部門は、例年応募数が少なく、入賞の確立が高い部門となっております。

皆様の積極的なご応募お待ちしております。

尚、詳しくは本会ホームページ (<http://www.shimanedoren.or.jp>) をご覧下さい。

■ 今後の主な予定

- 1月 4日 仕事始め
- 1月17日 農業農村整備の集い（東京都）
都道府県土連事務責任者会議
- 1月19日 農地・水環境保全協議会実務研修会（東部：本会）
- 20日 農地・水環境保全協議会実務研修会（西部：浜田合同庁舎）
- 1月19～20日 島根ふるさとフェア（広島市）
しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品展示等
- 1月28日 島根県農業農村整備推進協議会幹事会（本会）
- 1月29日 本会役員会（本会）
- 2月 5日 第55回県土連通常総会及び平成24年度土地改良功労者表彰式

みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp